

## 森林認証紙コップ



東罐興業では、本社・静岡工場・小牧工場紙生産部門の3拠点で、2015年1月に「FSC®/CoC認証」を取得し、日本国内で最初に森林認証紙を用いた紙コップを製造販売することができるようになりました。

静岡工場



小牧工場



この森林認証の紙コップは2015年6月より大手コーヒーチェーンでご採用いただいております。

世界的に環境問題への関心が高まるなか、森林認証紙へのニーズは増加しています。また近年のオリンピックなど国際的なイベントでも森林認証材を使用する傾向が強まっています。

「お客様のご要望にお応えする」「地球環境の保全に配慮する」というCSRの観点からも、東罐興業では今後も森林認証紙をはじめとする環境配慮型製品への取り組みを進めてまいります。

2016年6月現在、次の4規格で森林認証紙コップの生産が可能です。  
SMT-280S、SMT-400S、SMT-520S、SMT-640S



SMT-280S SMT-400S SMT-520S SMT-640S

### ・森林認証とは

森林資源の育成と木材の利用促進を図るため、地球環境や地域経済、地域社会などの面から森林が適切に管理されているかを第三者が判断する世界的な認証制度です。

東罐興業が認証を受けたFSC®(Forest Stewardship Council®(森林管理協議会))は、第三者機関のひとつで、責任ある森林管理を世界に普及することを目的としています。

### ・FSC®の認証のしくみ

FSC®森林認証制度は、違法伐採などがなく適切に管理されている森林を認証するFM(Forest Management)認証と、その管理された森林の木材(=認証材)を利用し、消費者の手に届くまでの加工・流通過程において認証するCoC(Chain of Custody)認証の2種類があります。認証を得た木材や木材製品・紙製品などにはFSCラベルを付けることができます。

<FSCラベル>



責任ある森林管理  
のマーク

Forest Management (FM) 認証



Chain of Custody (CoC) 認証

## 環境配慮紙コップ



森林認証の他にも東罐興業では間伐材紙コップ、非木材紙コップなど、環境に配慮した紙コップ製品の開発・製造に取り組んできました。

### 間伐材紙コップ (2007年認定取得)

間伐材を原料の一部に利用している紙コップです。

植林後、そのままでは生長に伴って森林が混みあい日当たりも悪くなり、細く曲がった木になってしまいます。そこで適度に木を伐採することで森が生き生きするようになります。この作業を「間伐」とよび、伐採された木のことを「間伐材」といいます。間伐材を原料の一部に利用することで森林資源の有効活用につながります。

東罐興業は飲料用紙コップとして初の間伐材認証を取得しました。



間伐とは、森林を元気にする生長に欠かせない手入れであり、間伐材の使用は、そこから生じた資源を活かすことになります。近年では環境保全を考えた間伐材の有効活用が注目されています。



### 非木材紙コップ (1998年認定取得)

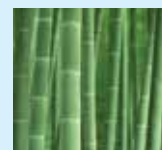
活用されていない非木材植物資源を有効活用し、パルプ原料の一部に利用している紙コップです。非木材紙コップは通常の紙コップ同様にリサイクルできます。

非木材には「ケナフ」「さとうきび」「竹」「葦」がありますが、東罐興業の非木材紙コップは「竹」を使用しています。



原料に木材以外の製紙用パルプ、非木材植物繊維 (Non-Wood Fiber) を使用しています。新たなエコロジー製品として、世界的にも注目されています。

木を切り過ぎると、CO<sub>2</sub>が吸収されず地球温暖化が進みます。



東罐興業では竹林保全のため間引きされた「竹」を活用しています。

